

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	巡回発達相談事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	柴山 晶子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実				
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮を要する児童の保育に対する保育士の不安感軽減のために助言を受けられる。 ・配慮を要する児童への適切な保育環境が提供される。 						
事業の概要	臨床心理士等による児童の発達状況の確認及び保育士への指導を各保育園で約年7回実施する。（保育士に対する研修）報酬額：1回につき20,000円						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,340		1,370		1,400	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	配慮を要する児童の保育に対する助言を受けた保育士の延べ人数	人	389	443	443	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	定期的に児童の発達状況を確認し、保育士の指導に活かすことができた。全体研修会を行なうことにより、保育士の知識をより深めることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	民間保育園事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課			担当者	柴山 晶子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実				
事業の目的	民間保育施設が円滑に運営され、適正な数の児童の保育が行われている。						
事業の概要	入園児童（2号・3号認定）に対し、国の定める基本保育単価等に基づく運営費として、施設型給付費を支払う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	670,070		683,900		831,384	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	市内の民間保育園に通う児童数	人	541	615	663	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	各保育施設に滞りなく適正に支払いを行なうことができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	管外保育園保育事業		事業開始年度	平成26年度			
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	柴山 晶子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実				
事業の目的	管外保育施設が円滑に運営され、適正な数の児童の保育が行われる。						
事業の概要	管外保育園に入園している園児（2号・3号認定）に対し、国の定める基本単価等に乗じた運営費として、施設型給付費を支払う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	87,648	103,157	106,560			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	市外の民間保育施設に通う児童数	人	77	72	72	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	各保育施設に滞りなく適正に支払うことができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業			事業開始年度	平成16年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	柴山 晶子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実				
事業の目的	育児に関する相互援助活動を推進し、地域での子育て家庭への援助体制を整備することにより、仕事と育児の両立を図る。						
事業の概要	市が設置し、運営を社会福祉法人さくら市社会福祉協議会に委託する。利用会員が提供会員に1時間当たり600円支払う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,886		2,307		2,909	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	サポートをしてくれる市民登録件数	人	46	49	49	
	成果	サポート利用件数	回	129	73	73	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	利用者数については、大きな変化はなかったが、委託料のうち、新規雇用による人件費増加により委託料が増加した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	子育て短期支援事業		事業開始年度	平成18年度			
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	大内 正枝			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実				
事業の目的	家庭での養育が一時的に困難となった児童の保護						
事業の概要	保護者の疾病等の理由により、一時的に家庭での養育が困難となった児童を実施施設に養育を委託する。社会福祉法人養徳園、済生会乳児院に委託。H30.12～きずな追加						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	602		306		585	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
		延べ利用日数	日	125	66	70	70
	成果	委託児童数	人	22	13	13	13
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	トワイライトステイ利用は定着した。利用希望はあるが、実施施設の受入枠の限界や体調不良による当日キャンセルがあるため減少した。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	民間育児サービス対策事業		事業開始年度	平成26年度			
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	柴山 晶子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実				
事業の目的	保育が必要な児童を一定の基準を満たした認可外保育施設で保育している場合、その施設に補助することにより、児童への適切な保育ができる。						
事業の概要	認可外保育施設で保育が必要な児童が入所している場合、その施設が適切な保育サービスを実施できるよう、施設に対し補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	0	0	924			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	施設への補助により適切な保育が行われた児童数	人	0	0	3	
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	対象施設がなく、事業実績がなかった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	特別保育事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課			担当者	柴山 晶子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実				
事業の目的	就労形態の多様化にあわせ、延長保育、一時預かり保育、病児保育などを利用できる。						
事業の概要	私立保育園等で実施する特別保育事業に対し、国、県、市の補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	56,426		57,266		77,310	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	特別保育実施率	%	100	100	100	
	成果	特別保育要望対応率	%	100	100	100	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	各種補助金交付要綱に基づき、各保育施設で実施する特別保育事業に対し、適正に補助金の交付を行なうことができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	放課後児童健全育成事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	大嶋 友明			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実				
事業の目的	1 留守家庭児童の健全な保護及び育成が図られる。 2 待機児童を出さない。						
事業の概要	市社会福祉協議会（押上小、熟田小）養徳園（南小）に委託して事業を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	25,235		31,498		36,104	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	入所率（学童保育児童数／対象児童数）	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	現在、待機児童を出さず児童の受入れができています。南小においては、利用を希望する児童数の増加と1クラブ定員の適正化に対応するため、施設の創設、改築を行った。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	あおぞら保育園地域活動事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課			担当者	大竹 宏委		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実				
事業の目的	地域との交流を通し様々な体験をするなかで、子どもの生活が豊かになり、子育て家庭の養育力の向上に繋がる。地域の社会資源として理解を得る機会となる。						
事業の概要	地域の高齢者、異年齢児童等、地域交流・世代間交流事業を継続的に実施する取り組みを行う。各種行事へ参加を呼びかけ、交流を通し豊かな人間性を持った子どもを育成する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	36		49		60	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
		交流延べ人数	人	210	255	100	250
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	各行事等には、地域老人会にお声かけをして出席を集っている。 小学校との交流会や、特別養護老人ホーム、デイサービス施設への慰問を行っている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	あおぞら保育園管理運営事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	大竹 宏委			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実				
事業の目的	保育が出来ない保護者の児童に対する保育が行われる。健全な心身の発達を図り、養護・教育一体の豊かな人間性を持った子に育てる。保育環境として安全性、快適性を満たす。						
事業の概要	市が入園を承諾した児童を年齢別に分け、各年齢に応じた保育業務や保育を行う。保育園の建物、施設に関し法令や規則に沿って維持管理を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	119,439		113,759		147,825	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	定員充足率（％）	％	84	84	92	95
	活動	一時保育の受入れ率（％）	％	80	0	80	80
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	保育士確保の課題は残るが、定員充足率を概ね達成することができた。一時保育希望者が1・2歳児であり、1・2歳児の定員充足率が100%であったため0%となった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	幼児教育振興事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	柴山 晶子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実				
事業の目的	市内の幼児が安心して幼稚園に通える。						
事業の概要	特別支援を要する園児が在園する市内の幼稚園に特別支援教育費を補助する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	3,518		3,289		5,000	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	幼稚園就園奨励補助事業対象園児数	人	530	482	0	
		特別支援教育を要する園児数	人	16	15	15	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	適正に補助金の交付を行なうことができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	たひよう保育園管理運営事業			事業開始年度	平成20年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	山本 英雄			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実				
事業の目的	保育園における環境を通じて、養護及び教育を一体的に行い、保育目標に沿って園児の健全な心身の発達を図り、豊かな人間性を持った子どもを育成する。						
事業の概要	年齢に応じた保育業務、保育給食を行い、市長が決定した額の保育料、給食費を徴収する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	81,213		78,332		93,063	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	活動	定員充足率	%	87.1	82.9	74.1	74.1
	活動	一時保育の受け入れ率（%）	%	100	0	0	0
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	保育士不足により定員充足率が低下した。また一時保育の相談が8件あったが、受け入れすることができなかった。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	たいよう保育園地域活動事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	山本 英雄			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実				
事業の目的	日常の保育を通じて蓄積された子育ての知識・経験・技術を活用し、保育園の場を活用して、子どもの健全育成及び子育て家庭の支援を行う。						
事業の概要	地域に開かれた社会資源として、世代間交流等を行い、保育園の持つ専門的機能を地域住民のために活用する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	43		17		26	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	活動	交流延べ人数	人	111	117	120	120
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	各種交流事業を通して、地域の子育て家庭への支援を行うことで概ね目的を達成することができたが、今後、さらに多くの方々の交流ができるよう工夫をしていく必要がある。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	わくわく保育園管理運営事業			事業開始年度	平成20年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課			担当者	稲澤 典子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実				
事業の目的	保護者の労働等の様々な理由により、家庭において十分に保育することができない乳幼児を保護者から委託を受けて保育し、養護と教育を一体的に行う。						
事業の概要	年齢と発達に応じた保育を行い、市長が決定した額の保育料、給食費を徴収する。開園時間は、午前7時15分から午後7時30分まで。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	78,656		71,260		86,961	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	活動	定員充足率	%	72.4	66.5	66.5	66.5
	活動	特別保育（一時＋延長）の受入割合	%	100	65	100	100
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	定員充足率は、保育士不足等の課題があり、前年比減少となっている。延長保育と一時預かり保育については、100%となり達成できた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	わくわく保育園地域活動事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課			担当者	稲澤 典子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実				
事業の目的	園児が地域の人々との交流を通して様々な経験をしていくことにより、生活経験が豊かになる。また、保育園が地域に開かれた社会資源として理解を得る機会となる。						
事業の概要	地域の高齢者や小学生との異年齢児童交流、また地域住民など世代間の交流事業を継続的						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	76		101		188	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	活動	交流延べ人数	人	600	80	200	
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた交流等を中止せざるを得なかった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	幼稚園事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課			担当者	柴山 晶子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実				
事業の目的	幼稚園、認定こども園が円滑に運営され、適正な数の児童の教育が行われる。						
事業の概要	幼稚園及び認定こども園に入園している園児（1号認定）に対し国の定める基本単価等に乗じた運営費として、施設型給付費を支払う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	59,317		69,524		487,719	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	児童数		96	72	328	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	滞りなく、適正に支払いを行なうことができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	地域型保育事業		事業開始年度	平成26年度			
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	柴山 晶子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実				
事業の目的	地域型保育事業所が円滑に運営され、適正な数の児童の保育が行われている。						
事業の概要	入園している児童（2号・3号）に対し国の定める基本保育単価等に乗じた運営費として地域型保育給付費を支払う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	79,680	123,294	130,067			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	事業所を利用する園児数	人	40	47	47	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	滞りなく、適正に支払いを行なうことができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	学童保育施設整備事業			事業開始年度	令和元年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課			担当者	大嶋 友明		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実				
事業の目的	小学生児童のうち、保護者が共働き等の世帯を対象に、放課後に適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全育成を図るため、学童施設の整備を行う。						
事業の概要	学童需要の増加、令和2年度からのクラス定員の適正化に対応するため、必要な学童施設の整備を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		62,345		25,323	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	活動	定員45人以下の学童単位割合			25	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	南小学童保育において、施設の新築、プール管理棟の改築を実施。令和2年度からの需要数の増加と、クラス定員の適正化に対応する準備ができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	認可外保育施設利用事業		事業開始年度	令和元年度			
担当課	健康福祉部	こども政策課	担当者	柴山 晶子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実				
事業の目的	認可外保育施設を利用する児童の保護者に対し、経済的支援を行うことで、保護者の負担を軽減し、子育て環境の充実を図る。						
事業の概要	認可外保育施設を利用する児童の保護者負担金を給付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	0	1,067	5,328			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
		認可外保育施設利用児童数	人		8	8	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和元年10月から幼児教育保育無償化の開始と同時に、認可外保育施設の保護者負担金について、給付を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	児童館管理運営事業			事業開始年度	平成20年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	大嶋 友明			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	02	子どもの遊び場の確保				
事業の目的	児童の健全な遊び場、子育て支援の場の提供。 留守家庭児童が学童保育を利用して、放課後の健全な保育や育成が図られる。						
事業の概要	指定管理者により管理運営を行う。氏家：(株)明日葉、上松山：市社会福祉協議会、喜連川：シダックス大新東ヒューマンサービス(株)						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	100,948		104,973		117,112	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	児童センター及び支援センター利用者数（延べ人数）	人	67,374	58,088	68,000	68,000
		学童保育入所率	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	学童保育の入所者は年々増加しているが、待機児童を出さずに受入することができている。児童センター利用者は、学童保育に入所移行した児童の増加と新型コロナウイルス感染症対策として一部の期間閉館したことにより、減少した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	児童医療費助成事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課			担当者	大内 正枝		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	03	子育てのための経済支援				
事業の目的	児童の医療に対する経済的な負担・不安が軽減される。						
事業の概要	18歳までの児童の保険診療費等に係る自己負担分に対して助成する。県のこども医療助成制度は小6までが対象であり、中学生以上は市単独事業として実施。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	210,900		206,328		213,258	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	受給資格証交付率	%	98	98	100	100
	成果	負担軽減された年間医療費総額	千円	204,236	200,111	204,650	204,650
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	受診しやすい環境になったことから、受診の抑制が減少したと思われ、児童の医療に対する経済的負担が軽減されると共に、疾病の悪化予防にも繋がったと考えられる。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	幼稚園就園奨励補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	柴山 晶子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	03	子育てのための経済支援				
事業の目的	幼児教育の充実を図る。						
事業の概要	就園児への教育費補助を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	66,662		29,496		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	就園奨励補助金を受けている就園児数	人	530	482	0	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	滞りなく適正に事務処理を行い、補助金の支払いを行うことができた。 令和元年10月から幼児教育保育無償化の開始に伴い、当該事業の制度が廃止となった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	妊産婦医療費助成事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	大内 正枝			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	03	子育てのための経済支援				
事業の目的	妊産婦の医療に対する経済的な負担・不安が軽減される。						
事業の概要	妊産婦の保険診療に係る自己負担分を助成する。ただし、薬局を除いた医療機関ごとに月額500円は自己負担となる。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	10,159		8,842		10,028	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	負担軽減された年間医療費総額	千円	10,151	8,822	10,000	10,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	適正に執行され、妊産婦の医療に対する負担が軽減された。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	実費徴収に係る補足給付事業			事業開始年度	令和元年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	柴山 晶子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	03	子育てのための経済支援				
事業の目的	子ども子育て新制度に移行していない幼稚園に在籍児の保護者に対し、実費徴収に係る費用を補助し保護者の経済的負担を軽減する。						
事業の概要	新制度に移行していない幼稚園に在園する低所得世帯の保護者に副食費の補助をする。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		628		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
		実費徴収に係る補足給付を受けている児童数	人		49	18	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	子ども子育て支援新制度に移行していない幼稚園に在籍する対象者に対し、実費徴収に係る補足給付を実施することができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	幼稚園類似施設補助事業		事業開始年度	令和元年度			
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	柴山 晶子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	03	子育てのための経済支援				
事業の目的	幼稚園に類似する施設に対し、保護者負担の補助を実施し経済的支援を行うことで、保護者の負担を軽減し、子育て環境を整える。						
事業の概要	令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化の開始と同時に、国で無償化の対象とならない「幼稚園に類似する施設」に対し、利用料等保護者負担の補助をする。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	0	752	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
		幼稚園類似施設に在園する教育認定児童数	人		9	9	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和元年10月からの幼児教育無償化の開始と同時に、該当施設の補助を要する保護者へ利用料等の補助を実施することができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	児童委員事業		事業開始年度	平成17年度			
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	柴山 晶子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	04	子育て不安の解消				
事業の目的	児童福祉委員に対し、その労務についての報酬として費用弁償することにより、各地域における児童福祉の向上を図る。						
事業の概要	児童福祉委員に対する報酬 児童福祉委員活動に対する報酬：年額6,000円						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	462		462		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	児童福祉委員配置率	%	100	100	100	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	各地域に児童福祉委員を配置できている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	あおぞら保育園子育て支援センター事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	大竹 宏委			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	04	子育て不安の解消				
事業の目的	未就園児の保護者が、保育・育児の情報取得・交換や子育てに関する相談が安心してできるようにする。						
事業の概要	子育て家庭への支援活動の企画・調整・実施を行う。園児交流、育児講座、健康相談、遊びの指導等の活動を通し、保育・育児の情報交換の場の提供を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	398		387		393	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	年間利用親子人数	人	500	400	200	500
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	児童館等にパンフレットを置いたり、広報紙等を活用し周知に努めたが、R1.2月下旬より新型コロナウイルス感染防止のため、支援センター休止、親子ピクスを中止にした。今後も幅広く周知し、利用者のニーズに答えていけるよう環境設定に努めたい。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	幼稚園子育て支援補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	柴山 晶子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	04	子育て不安の解消				
事業の目的	幼児への子育て支援が充実する。						
事業の概要	きつれ川幼稚園・氏家幼稚園の子育てランド事業に補助を行う。 なお、県補助金は直接幼稚園に支払われている。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	700		700		700	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	延べ参加者数	人	4,390	3,742	3,742	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	適正に事務処理を行い、滞りなく補助金の支払いを行なうことができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	たいよう保育園子育て支援センター事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	山本 英雄			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	04	子育て不安の解消				
事業の目的	家庭における子育てを支援し、児童の健やかな成長が促進できるような適切な相談、助言及び指導を行い、子どもを安心して生み育てることができるようにする。						
事業の概要	子育ての相談、情報の提供、助言や各種イベントを行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	199		189		263	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	活動	年間利用人数	人	210	265	100	200
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	前年度と比較し、利用者数も増加しており、概ね目的は達成したが、さらに多くの方への子育て支援が行えるよう、今後もイベントの開催等を行っていく。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	家庭児童相談室運営事業			事業開始年度	平成16年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	大内 正枝			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	04	子育て不安の解消				
事業の目的	保護者の子どもに対する悩みが解消する。 子どもの安全が確保される。						
事業の概要	非常勤職員の家庭相談員が週4日勤務しており、電話又は訪問又は来庁による相談に応じている。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	4,413		4,442		8,801	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	終結件数／対応件数	%	26	23	25	25
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	子どもに関する相談に対して、適正に応じることができた。 また、関係機関と連携し、児童虐待の未然防止や早期発見・早期対応に努めることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	こんにちは赤ちゃん事業			事業開始年度	平成20年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	高根 幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	04	子育て不安の解消				
事業の目的	生後4か月までの乳児のいる家庭が、必要な情報提供や適切なサービス提供を受けることで、地域の中で子どもを健やかに育成することができるようにする。						
事業の概要	産婦に対しエジンバラ産後うつ病質問票チェック、子育てサポート質問票、赤ちゃんの気持ち質問票の3点セット記入により産後うつの早期発見をする。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	4,313		4,323		3,810	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	乳児全戸訪問の実施率	%	98.3	100	100	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	本市で実施および里帰り先に依頼で全数実施できた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	利用者支援事業（母子保健型）			事業開始年度	平成29年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	高根 幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	04	子育て不安の解消				
事業の目的	保健センターを妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」と位置づけ必要なマネージメントを行う。						
事業の概要	①全妊産婦の支援に必要な情報把握②妊娠・出産・育児に関する相談に応じ必要な情報提供、助言、保健指導③支援プランの作成④妊産婦等支援会議、ネットワーク会議。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	3,668		3,440		5,830	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	全妊婦に対するセルフプラン作成者の割合	%	100	100	100	
	成果	産後退院してから1か月程度、指導ケアが十分に受けられた産婦の	%	88.3	91.5	90	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	セルフプラン作成者の割合は100%で、内容も工夫して妊婦に提示できた。産後1か月指導ケアが十分に受けられたと回答した産婦も増加している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	妊娠・出産包括支援事業			事業開始年度	平成29年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	高根 幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	04	子育て不安の解消				
事業の目的	妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を、ワンストップ相談窓口においてニーズを把握し、相談支援を行い必要なサービスを提供する。						
事業の概要	保健センターを「子育て世代包括支援センター」と位置付け、併せて「産前・産後サポート事業」「産後ケア事業」を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,319		2,816		2,493	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	要支援妊婦に対する支援プラン作成者の割合	%	100	100	100	
	成果	産後退院してから1か月程度、指導ケアが十分に受けられた産婦の	%	88.3	91.5	91.5	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	要支援妊婦に対する支援プランは全て作成することができた。産後ケア事業の利用者も大幅に増えたが、4か月児健康診査票で十分に支援が受けられたと回答した産婦の割合は8.4%減少した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	子ども子育て支援推進事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	大嶋 友明			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	子育て支援サービス等の需要と供給のバランスがとれ、市民が安心して子育てできる。						
事業の概要	子ども・子育て支援事業計画に関する審議 事業が計画に即して実施されているか、年度ごとに点検・評価する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	10,455		94,839		153,071	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	子ども・子育て会議 開催回数	回数	2	4	1	1
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	第2期子ども・子育て支援事業計画について、策定を完了することができた。また、民間施設整備の補助を行い、計画に沿った保育供給体制の整備ができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		